

# THE SHINGASHI BASIN NEWS

## 新河岸川流域しんぶん

# 里川

SATO-GAWA

発行 ●新河岸川流域川づくり連絡会（荒川下流河川事務所 調査課内）  
 住所 ●東京都北区志茂5-41-1 TEL03-3902-3220 FAX03-3902-2346  
 発行日 ●平成27年（2015）3月16日

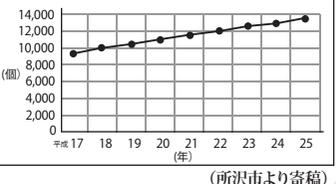


### 気になる水循環 (13) ～水循環 Q&A～

水循環 Q&A では、水循環に関する身近な疑問について、関係機関の方に回答をいただきます。今回は、法政大学水文地理科学研究所の学生さんから寄せられた「水循環」に関する質問について、所沢市の方に回答をいただきました。

**Q** 水循環再生の取り組みからどのような成果が出ていますか？

**A** 所沢市では、柳瀬川流域水循環アクションプラン（H21.3）が作成される以前から、市民活動の充実や雨水浸透施設の普及などさまざまな取り組みを進めてきました。その一つである「雨水浸透ますの無償支給制度」を紹介します。



#### 雨水浸透ますの無償支給制度 (所沢市)

市内全域を対象とし、雨水浸透施設の材料（雨水浸透ます等）を所沢市が無償で支給しています。なお、設置工事の費用は自己負担となります。

【取り組み成果】  
 無償支給制度などの効果もあり、所沢市全世帯では、累計で13455個の設置となりました。(平成25年度)

### イベントカレンダー

#### 新河岸川「ひらたぶね乗船体験」開催

東武鉄道(株)東上線が開通までの300年間、新河岸川は江戸と川越を結ぶ河岸場として栄えました。船頭さんの舟歌を聞きながら、昔の「新河岸川舟運」感じて、味わい・楽しんでいただければ幸いです。「新河岸川」河川名発祥の地であり、「新河岸駅」からは徒歩8分の下新河岸船着場にて、みどりの日に実施いたします。

【日時】2015年4月29日  
 午前10時～午後3時  
 ※荒天の場合は中止

【場所】新河岸川旭橋下 下新河岸船着場跡地

【主催】新河岸自治会 新河岸商栄会

【問い合わせ】新河岸自治会  
 会長 佐野國男 (090-2251-7566)



昨年度、舟乗体験の様子

### 事務局だより

#### 第3回連絡会、第4回連絡会が開催されました

11月25日(火)に第3回、2月4日(水)に第4回新河岸川流域川づくり連絡会が開催されました。第3回では、12月に開催予定の「第10回川でつながる発表会」の交流会企画や現地見学会のコースについて協議しました。また、埼玉県より、「水辺空間とことん活用プロジェクト」について事業紹介が行われました。

第4回では、今年度の連絡会活動の報告、次年度に向けた方針の協議をしました。また、事務局より、「荒川下流域を対象としたタイムライン検討について」情報提供を行いました。



第3回連絡会の様子

#### 川づくり連絡会に参加してみませんか？

新河岸川流域川づくり連絡会は、原則第2火曜日または第2金曜日で年4回程度開催します。参加希望の方は、下記連絡先までお問い合わせください。(開催場所はお問い合わせ時にお知らせします。)

#### しんぶん「里川」掲載情報を大募集します！

各流域や地域での活動報告やイベント情報を募集しています。身近な情報などをお手紙またはFAX・メールにて下記連絡先までお寄せ下さい。

■連絡先  
 新河岸川流域川づくり連絡会 事務局  
 (国土交通省関東地方整備局 荒川下流河川事務所 調査課内)  
 〒115-0042 東京都北区志茂5-41-1  
 TEL 03-3902-3220 FAX 03-3902-2346  
 URL <http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/>



切り絵 毛利将範

### 目次

- P2～3 第10回川でつながる発表会の開催報告
- P4 連載：気になる水循環 (13) 水循環 Q&A イベントカレンダー、事務局だより
- P5 特集：めぐる巡る水の旅！  
～見て、聞いて、考えて、体験した一日～

日増しに暖かくなり、梅が見頃となりました。今後は桜前線も北上してきますので、川と花の風情溢れる写真を撮りに出かけませんか。

今号では、12月に所沢市立所沢小学校で開催した第10回川でつながる発表会の開催報告を掲載します。連載では、法政大学の生徒さんからの疑問に、所沢市の方に回答をいただきました。特集では、川でつながる発表会の交流会企画の結果を報告します。

# 第10回川でつながる発表会の開催報告!!

12月14日(日)に所沢市立所沢小学校で開催された「川でつながる発表会」は今回で10回目となります。各参加団体が行った新河岸川流域の川や自然に関する観察結果や研究成果の発表は、今年も力作ぞろいで、来場者は熱心に耳を傾けていました。

時間	内容	
10:30	受付	
10:55	開会挨拶 午前の部(現地見学会)開会に先立ち、荒川下流河川事務所調査課長より「参加者同士の交流をして、楽しんでいただきたい。」という挨拶がありました。	
11:00	現地見学会	東川を愛する会の方による案内のもと、所沢市の水循環に関する歴史がわかる弘法大師の3つの井戸など、所沢市内の東川周辺の現地見学会を行いました。道中の東川地下河川の第3立坑のあたりでは、埼玉県越谷土木事務所河川担当の方より地下河川工事の概要や治水効果について説明をしていただきました。 
13:00	挨拶	午後の部(発表会・交流会)開会に先立ち、所沢市立所沢小学校校長より、「所沢市では東川を活動の拠点とした学校が環境などをテーマとして活動している。今後も活動が活発になればうれしい。」という挨拶がありました。 
	発表会 発表(前半) コメント 質問	発表会(前半)は所沢市立所沢小学校より「ところざわ自慢」、明法中学・高等学校より「明法科学部の活動(環境を考えた科学とものづくり)」、所沢市立東中学校より「豊かな心を育む東中環境活動」の発表がありました。 
13:55	発表会 発表(後半) コメント 質問	発表会(後半)は自由学園高等科より「校内を流れる立野川としのめ池 今年度の僕たちの活動」、法政大学水文地理学研究室より「身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性(3)」、グリーン・フォレスト・ネットワーク所沢/ところざわ倶楽部地域の自然グループ/早稲田大学理工学部より「雑木林と湿地の保全」の発表がありました。 
14:45	交流会	今回は10回目の記念の発表会となるため、新河岸川流域川づくり連絡会事務局では、これまでの9回の発表会をふりかえる写真展やこれからの水循環再生に向けた取り組みを参加いただいた方々に考えていただく企画を実施しました。また会場内には、流域学校や川づくり団体による取り組みをまとめた力作ぞろいのパネル展示とあわせて、参加いただいた方々に体験しながら学んでいただく企画として、所沢市河川課による「水循環授業」、埼玉県大久保浄水場による「浄水場の仕組み」、法政大学水文地理学研究室による「適切な水質調査の方法」、新河岸川流域川づくり連絡会による「雨水浸透実験」が行われました。 
		クイズ答え合わせ/表彰状授与/総括
16:00	閉会	恒例の記念撮影は、学校や世代を越えてつながる一体感を感じさせる一コマでした。発表会にご参加・ご協力いただいたみなさま、どうもありがとうございました。
	記念撮影	

## 1 所沢市立所沢小学校

### ◆ふるさと所沢じまん

昆虫の特徴、「とことこ池」の魚、所沢の成り立ちなどについての発表がありました。昆虫の特徴は八国山に行ったときに、いきものふれあいの里センターの方から教えてもらったことを紹介しました。「とことこ池」の魚については、池に生息するコイとメダカについて紹介をしました。所沢の成り立ちなどについては地名の由来、所沢の市章、小学校の校章、名産などを紹介しました。

## 2 明法中学・高等学校

### ◆明法科学部の活動(環境を考えた科学とものづくり)

科学部の活動と野火止用水の水質調査についての発表がありました。科学部の活動として、ソーラーバイク、ソーラーカー、エコプラネタリウム、エコイルミネーションを使った地域貢献の取り組みを紹介しました。野火止用水の水質調査では、歴史として、江戸時代に松平信綱により開削されたことや身近な水環境一斉調査の日に測定したCODやECの数値について説明がありました。

## 3 所沢市立東中学校

### ◆豊かな心を育む東中環境活動

東川の清掃活動についての発表がありました。東川の清掃活動は、東川を地域の宝として大切にすることを育むために、毎年8月、2月に学校行事の一環として実施していることや新たな取り組みとして、節水の呼びかけをしていることを紹介しました。また、学校行事だけでなく、地域のおまつりである川まつりでの清掃が主体的に行われていると説明がありました。

## 4 自由学園高等科

### ◆校内を流れる立野川としのめ池 今年度の僕たちの活動

河川管理グループとしての日々の活動、しのめ池生物調査などについての発表がありました。日々の活動では、毎日実施する水質調査の調査項目や特定外来生物の駆除の成果を紹介しました。しのめ池生物調査では、3年前に放流した水生生物の数を調査し、確認できなかった生物については、生育に必要な環境がなかったと原因を分析していました。

## 5 法政大学水文地理学研究室

### ◆身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性(3)

身近な水環境一斉調査の水質分析結果から見た新河岸川流域の地域特性についての発表がありました。流域全体の水質に関する調査を行い、窒素イオン濃度と生活排水の関係から人間活動が盛んにおこなわれている場所を紹介しました。水量の大小によりイオン濃度も変化するため、水質調査は同じ地点で継続的に実施していくことが大切であると説明がありました。

## 6 グリーン・フォレスト・ネットワーク所沢/ところざわ倶楽部地域の自然グループ/早稲田大学理工学部

### ◆雑木林と湿地の保全

雑木林と湿地の保全について発表がありました。7年前から実施している早稲田大学キャンパス内にある湿地・雑木林の保全活動や東京都で16か所、埼玉県で11か所残っている丘陵地が浸食されて形成された谷戸の紹介がありました。また、所沢の緑を守っていくためには、資金面の運用が今後の課題になると説明していました。

# めぐる巡る水の旅!

## ～見て、聞いて、考えて、体験した一日～



### ① 水循環

海が熱せられ、雲ができ、雨が降り、川を流れ、人が利用し、また川を流れ海に戻るという一連の流れのことをいいます。この一連の流れは、山や川などをたどる自然系のものと、人々の生活の中をたどる人工系のものに分けることができます。

### ② 川でつながる発表会

学生などの水や環境に関わるさまざまな取り組みの発表を通して、世代を超えた交流が生まれるきっかけをつくることを目的としています。今号では、「第10回川でつながる発表会」の中でも、流域のみなさまに水循環再生について広く理解していただくために、さまざまな団体と協力して実施した交流会の内容を紹介します。

#### 第10回川でつながる発表会

■日時：平成26年12月14日10時55分～16時  
■場所：所沢市立所沢小学校 体育館

### ① 見て、聞く!水のながれと流域内の取り組み

#### 所沢市河川課による水循環授業

授業では、空から降る雨は、海上で熱せられた空気が上空で冷やされて雨になっていることや健全な水の流れが確保されないと洪水などの災害が発生することが紹介されました。



雨がどこからきて、どこへいくのか水循環の基本を知る



新河岸川流域内の河川・環境活動を広く知る

パネル展示では、新河岸川流域において取り組まれている成果が整理されていました。パネルの中には、洪水などの災害の対策として、緑地保全に着目し、団体レベルで実施している緑地保全活動などがまとめられていました。

#### パネル展示

小学校～大学、市民団体による

### ② 考える!水循環再生に向けた取り組み

#### 新河岸川流域川づくり連絡会による水循環を考える企画

水循環を考える企画では、講義を聞いて得た知識を踏まえて、「雨水貯留浸透施設の設置」「河川や環境に係る市民活動への参加」「緑地保全」の3つの項目から、その対策効果も検討しながら、自分が実施したい取り組みを考えてもらいました。



水循環再生に向けた対策と効果を知る

#### 【今後に向けて】

川でつながる発表会の交流会企画は毎年、新しい企画を用意しております。次回に向けて、「水循環再生に向けて、こんな企画をやってほしい。」「住まい近くにはこんな河川・環境活動している団体や学校がある。」など流域のみなさまの情報・意見を募集しております。

■ 問い合わせ先 ■

新河岸川流域川づくり連絡会事務局 (国土交通省荒川下流河川事務所調査課内)  
電話：03-3902-3220 住所：東京都北区志茂 5-41-1

### ③ 体験する!水の浸透と治水

#### 法政大学 水文地理学研究室による 浄水場の仕組み 適切な水質調査の方法

埼玉県大久保浄水場からは、ダムや川を流れる水の流れの1つとして、浄水場を通過すること、また沈砂池、沈殿池、濾過池などの各施設の役割が紹介されました。

#### 埼玉県大久保浄水場による 浄水場の仕組み

埼玉県大久保浄水場からは、ダムや川を流れる水の流れの1つとして、浄水場を通過すること、また沈砂池、沈殿池、濾過池などの各施設の役割が紹介されました。

水の流れの中にある浄水場の役割を知る



雨水貯留浸透実験では、「水循環を考える企画」で考えた水循環再生に向けた取り組みについての知識を実際に体験することで理解を深めてもらいました。

調査方法による数値の違いを知る



#### 雨水貯留浸透実験 新河岸川流域川づくり連絡会による

水循環再生に向けた対策と効果を知る